

「国語力について」

明治大学教授の齋藤孝先生の講演を聞く機会がありました。「国語力」についての講演でした。とても興味深く拝聴しました。「国語力」という言葉はよく耳にしますが、言語学の観点からは、生まれて最初に習得する言語を「母語」と呼び、「国語」という場合は国という領域の中で主な言語として使われている言語であるとまず整理しておかないといけません。日本の場合は多数の国民が日本語を使っているという実情がありますので、「国語」は「日本語」と同等の意味で使われます。「国語」が複数ある国はたくさんありますので、「国語力」イコール「日本語力」と見なすことができる国は少数かもしれません。ですから、齋藤先生が伝えたかったのは「母語」として日本語を使う力についてであったと考えるのがよいと思います。

さて、その内容でなるほどと思った点ですが、母語を使う力は網の目のようなものだという点です。網の目が細かいほどいろいろなものを捉えることができます。網の目が粗いと、とらえられずに逃してしまうものができてしまいます。齋藤先生によれば網の目を作っているのは語彙力です。語彙力が豊かであればあるほどいろいろなことを捉えることができます。人の思考は母語の力を得て行っていますので、語彙力が豊かであればあるほどいろいろなことを捉えて考えることができるということになります。その際、日本人にとっての母語は日本語であることが多いので、ひらがな、カタカナだけでなく漢字の語彙がここで大切になってきます。音を聞き、漢字ですぐイメージできる語彙は漢字そのものが何らかの意味を有するものであるとともに、濃縮した意味を持つものなので、思考する上で、より高度なレベルで物事をとらえ、そして思考することに役立つこととなります。簡単にまとめると、漢字をしっかり勉強することで語彙力が高まり、そのことで物事も細かくとらえられ、深く考えられるようになるということです。具体的例として、雨の降り方を表す漢字をイメージしてみてください。大雨、小雨などは雨の降り方の量的な表現です。霧雨(きりさめ)や通り雨(とおりあめ)はわかると思いますが、方時雨(かたしぐれ)とはどういう雨でしょうか。小糠雨(こぬかあめ)はいかがでしょうか。驟雨(しゅうう)はいかがでしょうか。最後の二つは、私もこの文を書くために調べたのですが、もともと知らない言葉でした。しかし、分かってしまうと世界が広がった感じがしました

校長 宮本 順紀

- 2日(金) 実践研究協力校事業調査官訪問(国語科)
- 5日(月) ものづくりマイスター製作指導
- 8日(木) 高教研情報部会公開授業(英語)、モップ交換
- 9日(金) ~10日(土) ものづくり教育フェア
- 11日(日) 全商珠算・電卓検定
- 13日(木) 県民の日
- 中学生対象秋季学校説明会
- 20日(火) 道徳・道徳プラス公開授業、茨城教育月間公開授業 ICT支援員訪問
- 21日(水) スクールカウンセラー訪問
- 22日(木) 人間文化科絵本製作・ラオス講演会、生徒会選挙
- 23日(金) 勤労感謝の日、龍ヶ崎いがっぺ市コロッセウツ
- 25日(日) 全経簿記能力検定、PTA研修旅行
- 26日(月) ものづくりマイスター製作指導
- 27日(火) ~30日(金) 第2学期期末考査



龍ヶ崎二高だより No.7

平成30年10月30日発行

◆竜峰祭、ご来校ありがとうございました



10月26・27日の2日間、天候にも恵まれ賑やかに竜峰祭を行うことができました。実行委員が夏休みを返上して制作した校舎入口のゲートや外ステージの背景ボード、全クラスが趣向を凝らした垂れ幕が雰

囲気を盛り上げ、多くの来場者に模擬店や校舎内の展示、部活動の発表などを楽しんでいただくことができました。

また、前日の校内発表ではクラスごとに構成を練り、劇やダンス・合唱など趣向を凝らしたパフォーマンスが繰り広げられました。



クラスステージ
パフォーマンス



クラス企画



部活展示



◆一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業
「伝統工芸体験学習」を行いました。



10月15日(月)に人間文化科1年生が紬の里及び結城市伝統工芸館で、結城紬の学習と藍染め・はた織り・糸つむぎを体験しました。生徒たちは、体験をとおして、職人技に触れるとともに伝統工芸品及び産業に対する知識と理解を深めることができました。

「高校生ライブデザインセミナー」を行いました。



10月19日(金)にNPO法人ままと一んのご協力のもと、誕生学プログラムとゲストとの交流を行いました。出産や子育てについてのお話を伺ったり、赤ちゃんとのふれあいによりその重みや温もりを感じる事ができました。

◆タブレットを使用した公開授業を行いました。



英語科では指導主事訪問による公開授業、数学科では初任者研修公開授業が行われました。どちらの授業もタブレットを使用し考えをまとめたり、発表する授業で、生徒たちはわかりやすくするために画像を取り込んだり、構成を考えたりと活発に取り組んでいました。

◆龍ヶ崎小学校交流支援授業

10月12・18・19日の3日間にわたり、龍ヶ崎小学校の5年生と6年生の児童を対象に、ミシン学習のサポートを行いました。5年生がエプロン・6年生はナップザックの作成でしたが、小学生たちは高校生から、布への印の付け方やミシンのかけ方などを教わり、エプロンやナップザックが仕上がると、とても嬉しそうに身に付けていました。



◆田んぼの学校に参加しました

10月28日に龍ヶ崎市内の横田農場で開催された「田んぼの学校」(龍ヶ崎市教育委員会後援)に、本校からも10名が参加しました。みんなで楽しく稲刈りをしたり、田んぼの生き物さがしをした後は、本校生も手伝って餅をつき、参加者全員でおいしくいただきました。

